

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× 経験がすべてだと思ふのは誤解だ！

経験は大切だが、同時に「経験則で縛られてしまう恐れもある」「固定概念に縛られてしまう恐れもある」という側面も忘れてはならない。それを裏付ける言葉に、仕事の発展を拒む「経験・勘・気分」の3K という言葉がある。今までのワクの中でしか仕事をしない＝経験。データや理論を使わない＝勘。自分勝手に進める＝気分。あなたはどれだろうか？

※ 固定概念の危険信号

利益を上げるためには、常に「こんな方法も可能では・・・」という柔軟な思考を失わないことが必要だ。いわゆる「固定概念」を打破することだが、人はどうしても過去の経験則に頼りがちになる。「経験からいって、無理だ」「経験からいって、これしかない」「経験からいって、こうしなければならない」と断定できるほど仕事は甘くない。こういう考えが出てきたら、固定概念に入り込んでいる危険信号だ。

※ こんな言葉を捨てなさい

「今のままで特に問題はない」

問題のない社内や仕事などあるわけがない。

「時間がない」

時間がないのではなく、あなたの工夫がない

「自分はベストをつくしている」

そう思った瞬間から、努力を放棄している

「他の人も努力してない」

成長しない人がよく使う言葉

「会社の理解や援護がない」

援護があるからできるは幼い

「今からでは遅すぎる」

その気になればいつでもチャンスだ

「いまさら恥ずかしい」

人はあなたが思うほど見ていない

1) 仕事を拒む3K とは何ですか？

() () ()

2) 固定概念にとらわれたらどんな言葉を捨てなさいと言っていますか？

() () ()

() ()

() ()